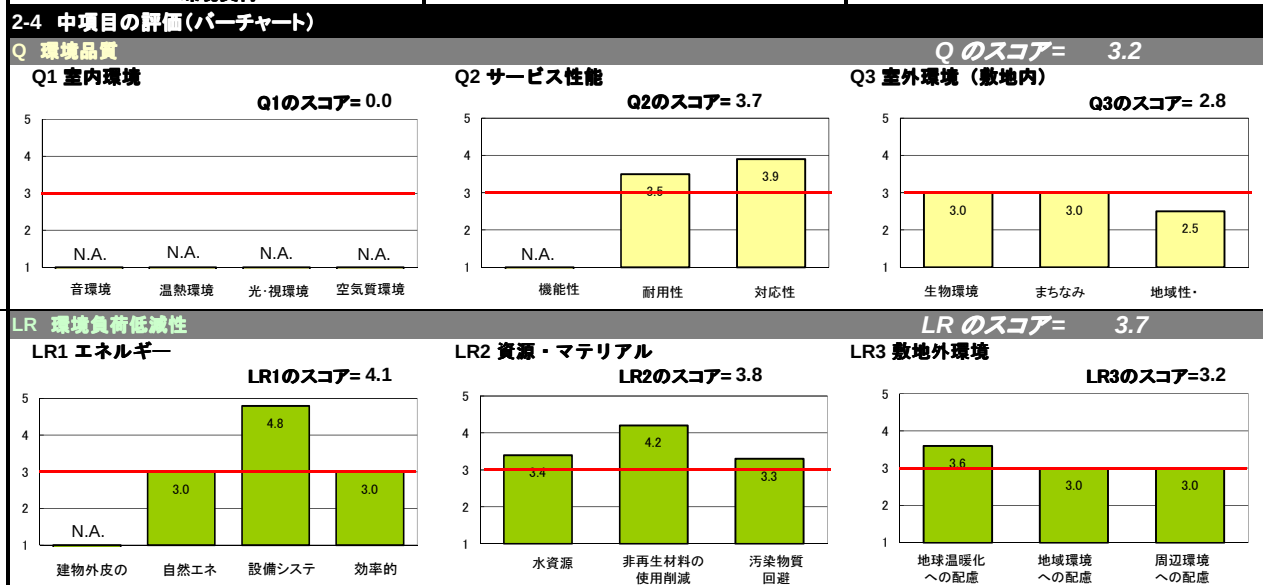
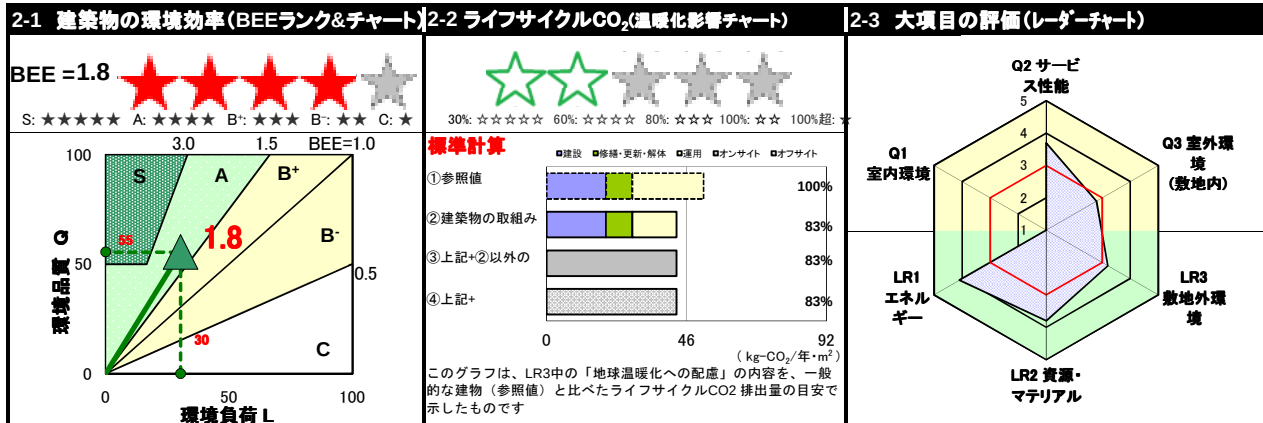


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	手柄山スポーツ施設整備運営事業	階数	地下1F、地上4F
建設地	兵庫県姫路市西延末450外	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、第二種住居地域、法	平均居住人員	— 人
地域区分	6地域	年間使用時間	— 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年7月 予定	評価の実施日	2023年5月25日
敷地面積	42,693 m ²	作成者	大成建設株式会社 浅野晃宏
建築面積	19,825 m ²	確認日	2023年5月25日
延床面積	43,760 m ²	確認者	株式会社 梓設計 岡口猛



3 設計上の配慮事項		
総合 ・断熱性の高い材料の採用と高効率な設備機器の導入、節水型器具の採用等により、環境負荷の低減に配慮した建物である。		その他
Q1 室内環境 ・評価対象外	Q2 サービス性能 ・階高を高く確保することで、設備の更新性に配慮している。	Q3 室外環境 (敷地内) —
LR1 エネルギー ・高効率な設備機器を採用し、エネルギーの効率的利用に配慮している。	LR2 資源・マテリアル ・O Aフロアの採用によって部材の再利用可能性向上を図り、躯体と仕上材の分離を容易にすることで、解体時におけるリサイクルを促進させる対策がある。	LR3 敷地外環境 ・駐車場の確保や出入りのしやすい駐車場計画により、交通渋滞緩和に配慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される